

個人投資家向け会社説明会



ヤマハ発動機株式会社

東証一部:7272

2021年5月28日

本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

3. 成長戦略

4. 株主還元

会社概要

(2020年12月末現在)

社名	ヤマハ発動機株式会社
業種	輸送用機器
上場	東京証券取引所(証券コード:7272)
創立	1955年(昭和30年)7月1日
資本金	859億73百万円
代表取締役社長	日高 祥博
従業員数	連結会社計:52,437人
本社	〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500
関係会社	連結子会社135社(国内24社、海外111社)
単元	100株



代表取締役社長 日高 祥博



静岡県磐田市本社

ヤマハ発動機のあゆみ

1887年、山葉寅楠が浜松でオルガン修理

1897年、**日本楽器製造** 誕生
(現在のヤマハ株式会社)



帝国陸軍の要請により、
軍用航空機のプロペラの製造



1955年、**二輪車部門**を分離・独立
(ヤマハ発動機の始まり)



ヤマハ 株式会社



ヤマハ発動機 株式会社



多彩な商品展開 ～陸・海・空すべての領域で事業展開～

ランドモビリティ事業



マリン事業



ロボティクス事業



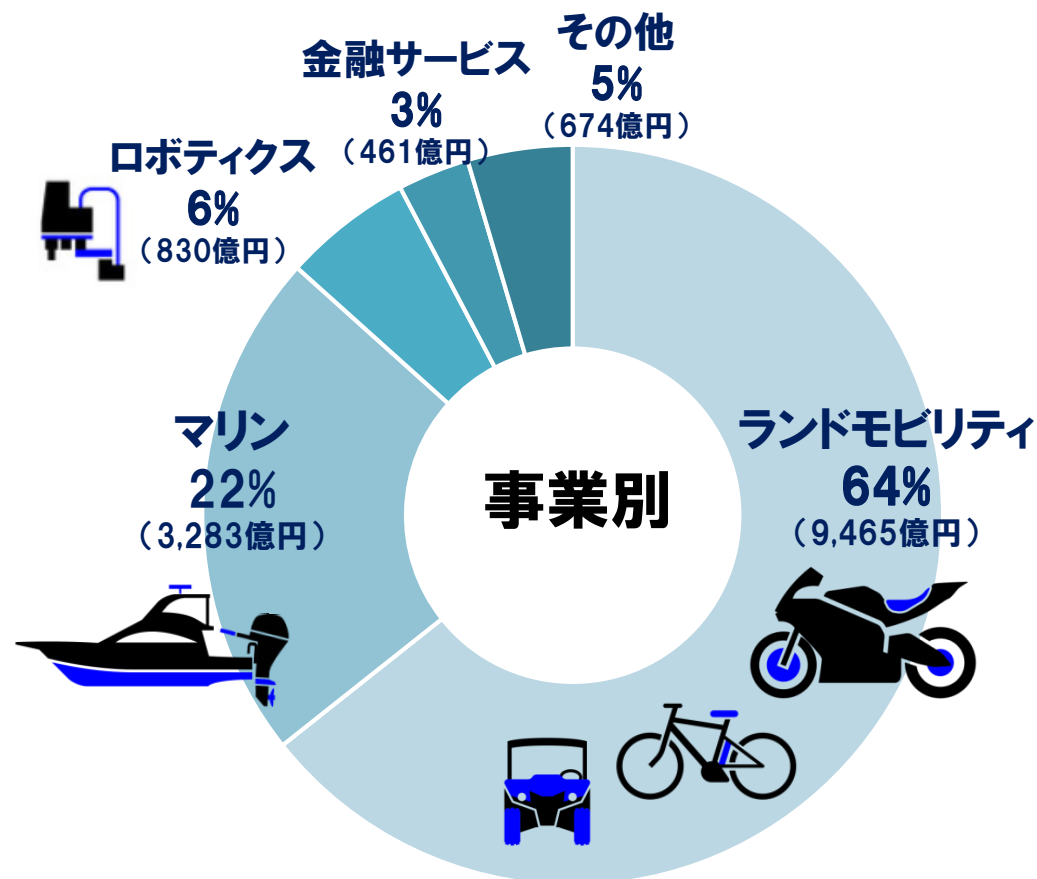
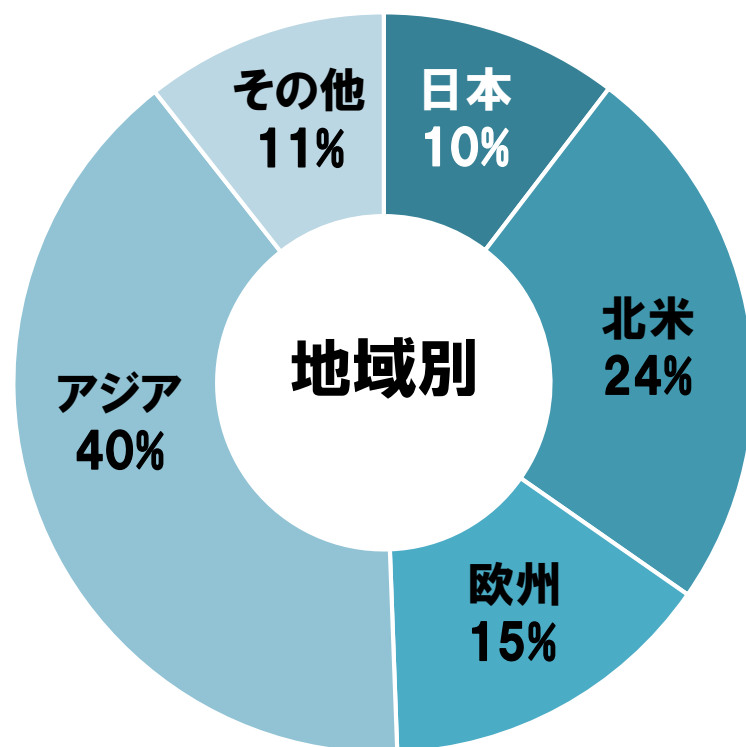
その他事業



金融サービス事業

売上構成（2020年12月期）

連結売上高 = 1兆4,713億円

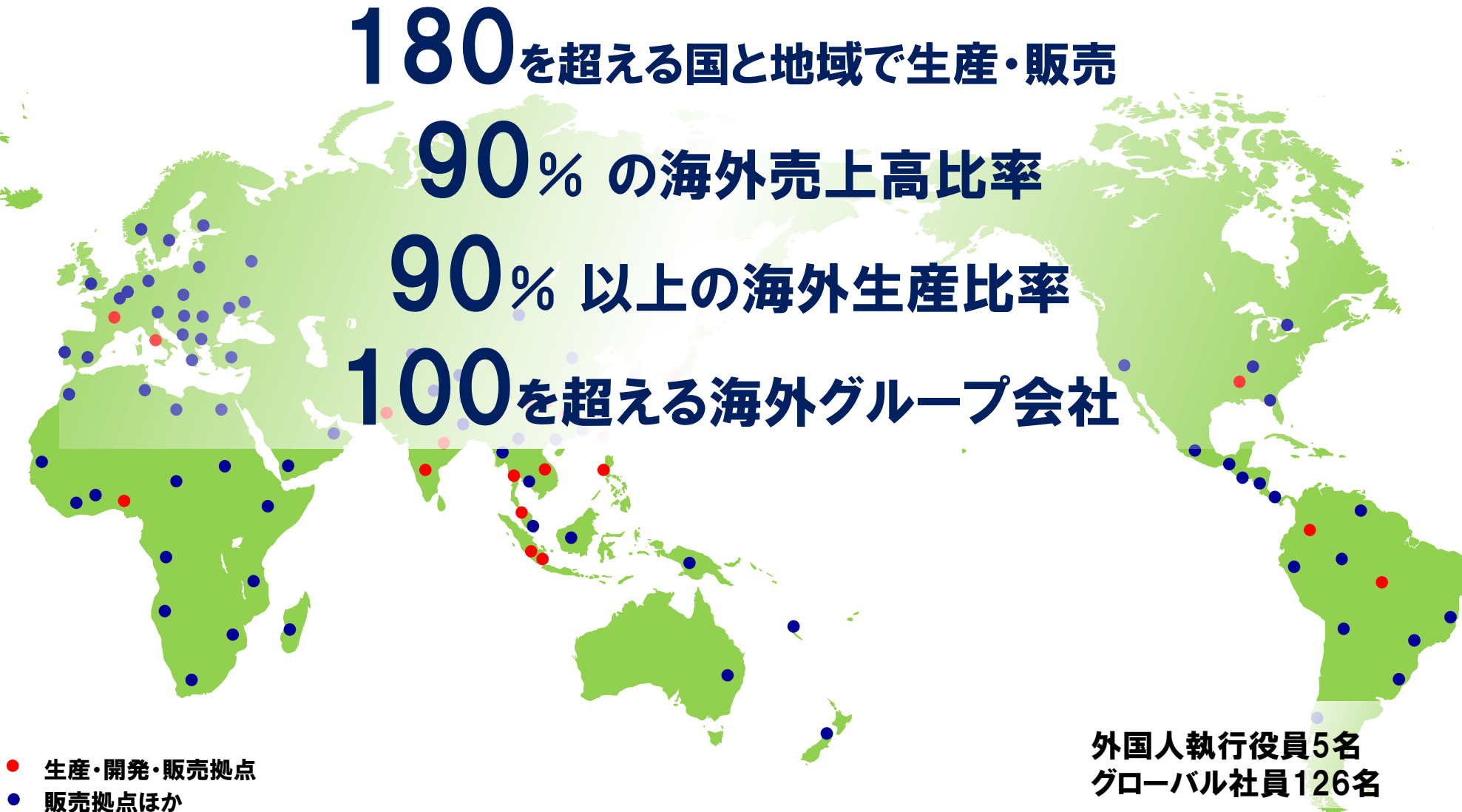


180を超える国と地域で生産・販売

90%の海外売上高比率

90%以上の海外生産比率

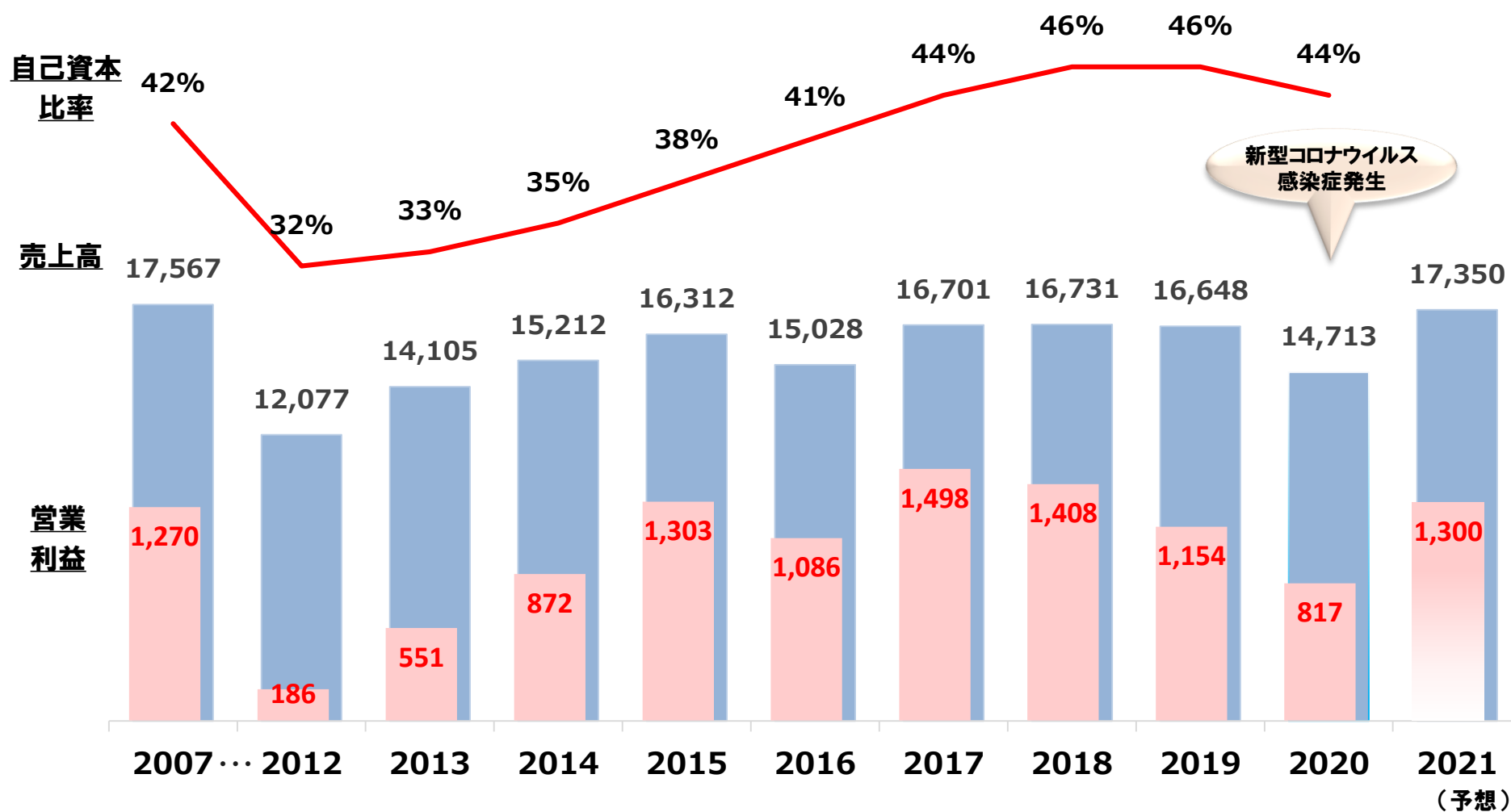
100を超える海外グループ会社

- 
- 生産・開発・販売拠点
 - 販売拠点ほか

外国人執行役員5名
グローバル社員126名

業績の推移

※表示されている2014年以前の数字は、
販売金融に関わる収益・費用の組替を行う前のものです。



EPS (円)	248.82	21.45	126.2	196.06	171.89	180.84	290.93	267.35	216.83	151.89	257.56
ROE (%)	14.2	2.5	12.7	16.2	12.6	12.3	17.6	14.6	11.1	7.5	—

Withコロナ Afterコロナ

米国：アウトドア・ファミリーレジャーの需要増加
欧州/日本：パーソナルモビリティの価値提供



本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

3. 成長戦略

4. 株主還元

ランドモビリティ事業

二輪車、ATV(四輪バギー)
ROV(レクリエーショナル・オフハイウェイ・ビークル)
スノーモビル、電動アシスト自転車等



二輪車事業は会社創立から基幹事業として展開 経営効率・商品競争力を高め、安定した収益体質へ

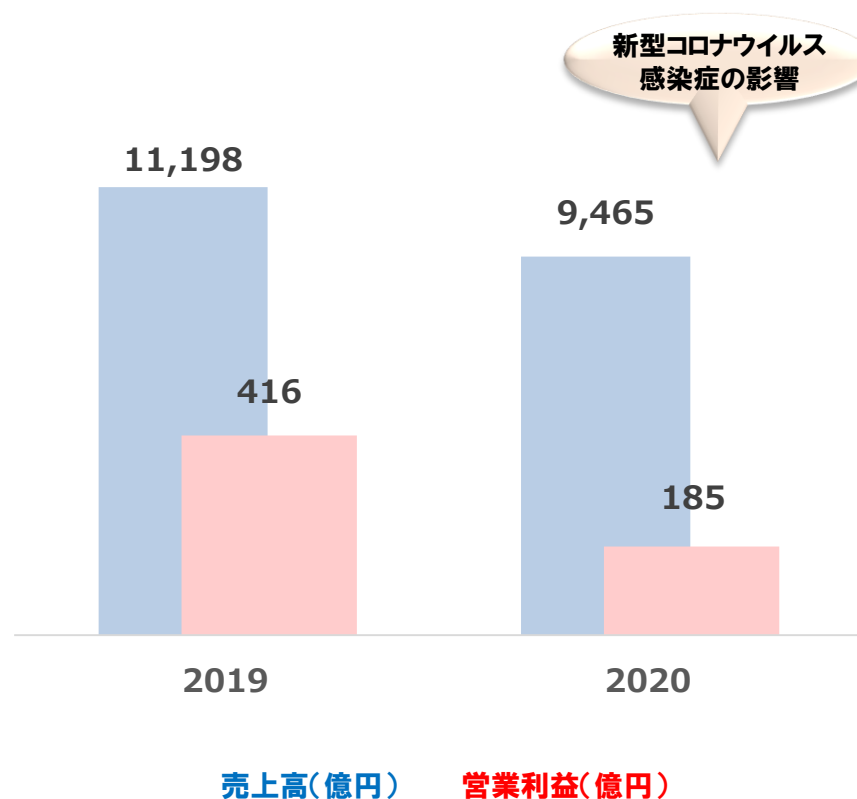
二輪車



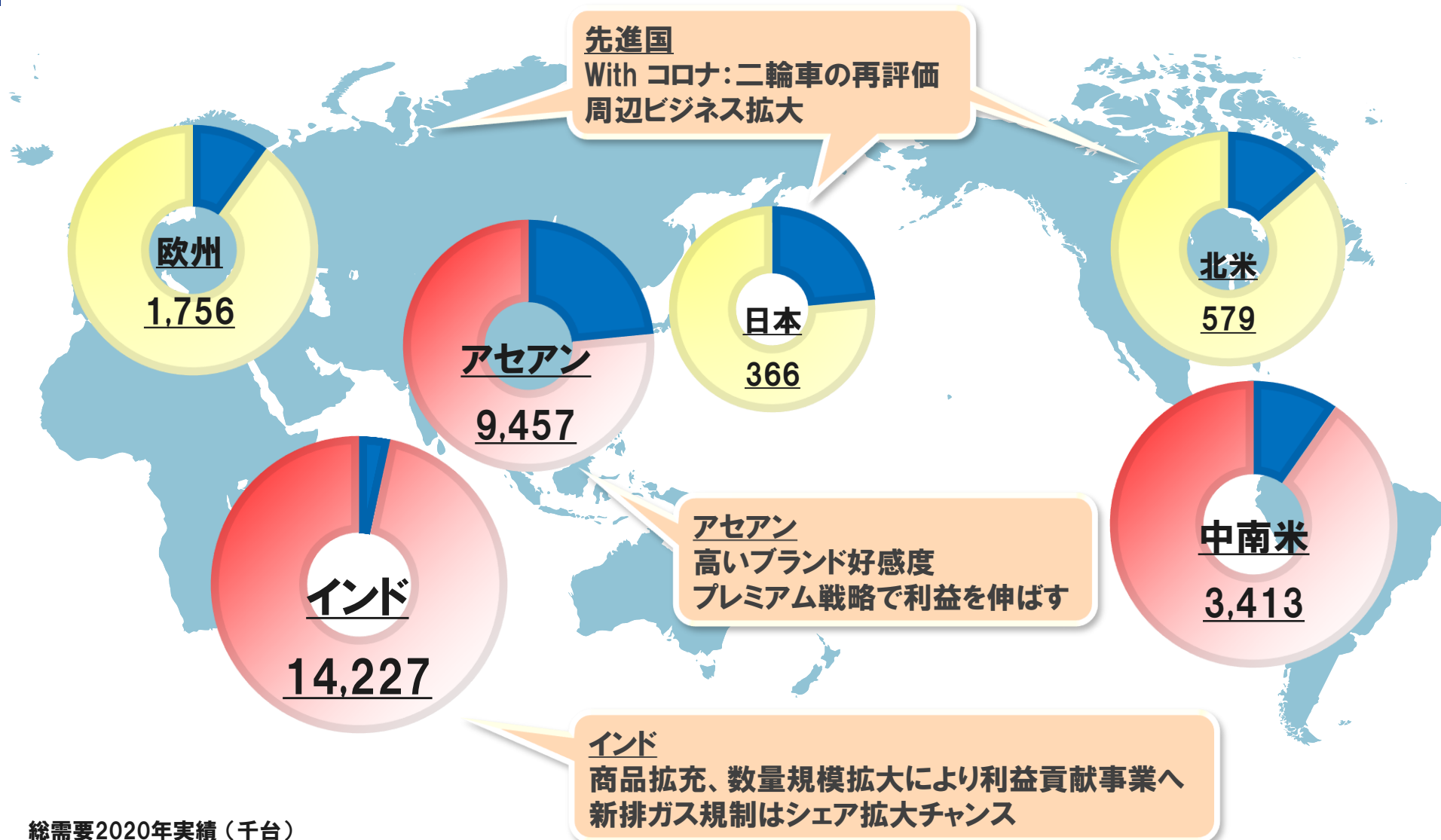
ROV



電動アシスト自転車



二輪車事業 ～ 世界市場 ～



総需要2020年実績 (千台)

二輪車の世界の総需要計: 44,497千台



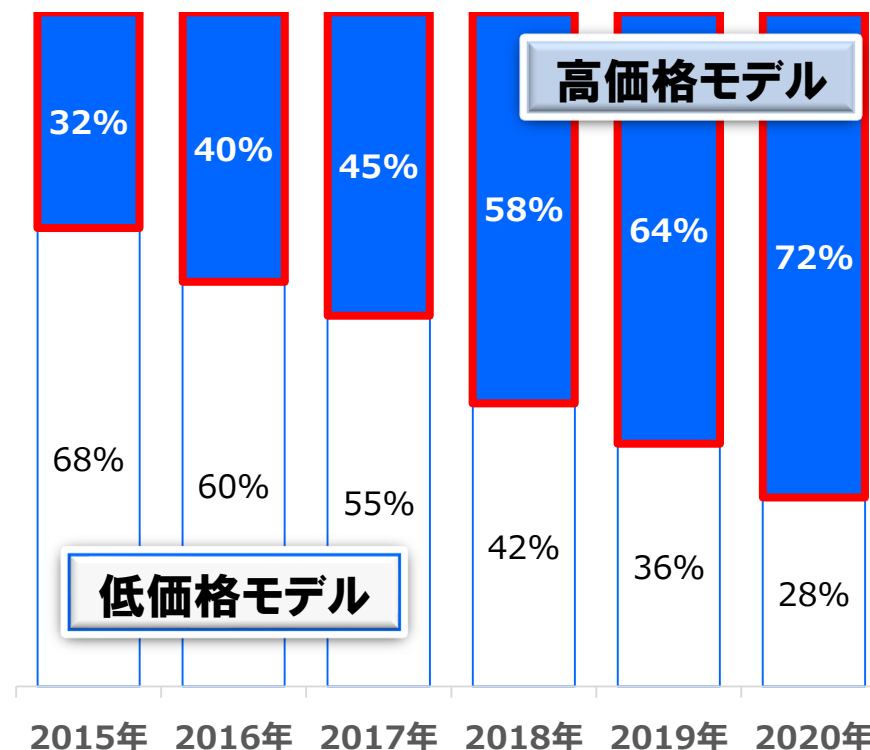
①プラットフォーム開発によるコストダウン



③アセアンでは繋がる機能搭載モデルを拡大



②高価格モデルの販売比率増加



例)インドネシア 価格帯別販売台数推移

マリン事業

船外機、ウォータービークル(水上オートバイ)
ボート、プール、漁船、和船



売上高3,000億円超、営業利益率15%以上

アウトドア需要好調、大型船外機需要拡大続く

船外機



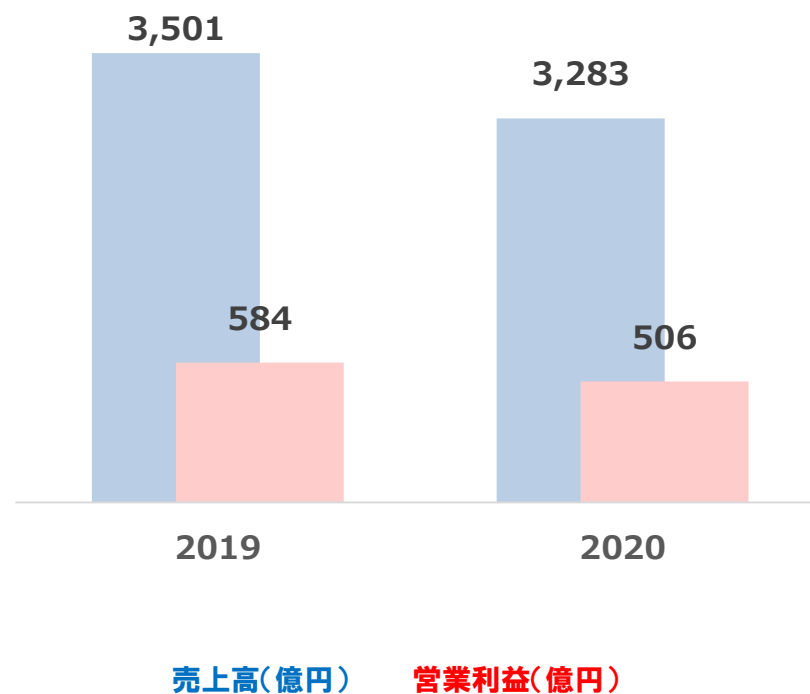
プレジャーボート



水上オートバイ



プール



マリン事業 ～ 米欧 市場のトレンド～

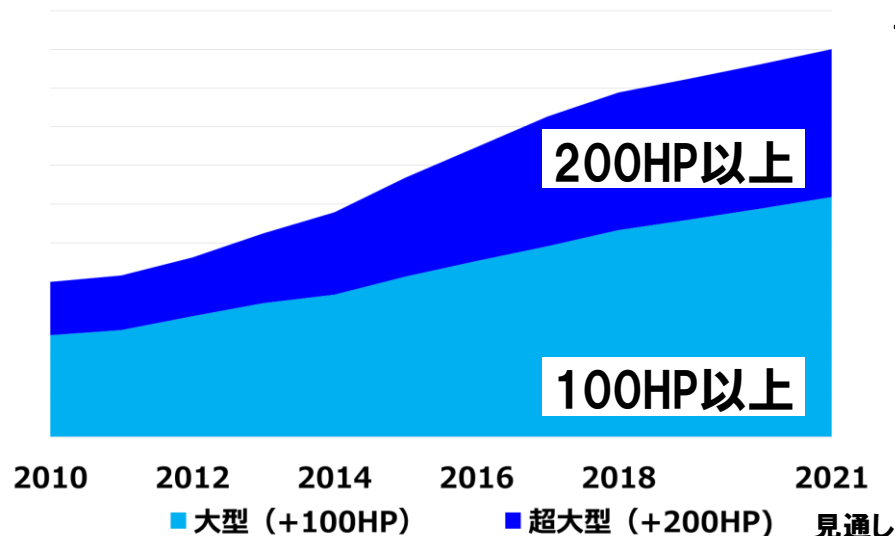
大型船外機の需要増加

- ①大型船外機の性能アップ
- ②船内スペースの有効活用
- ③取り扱いやすさ
- ④環境規制の高まり

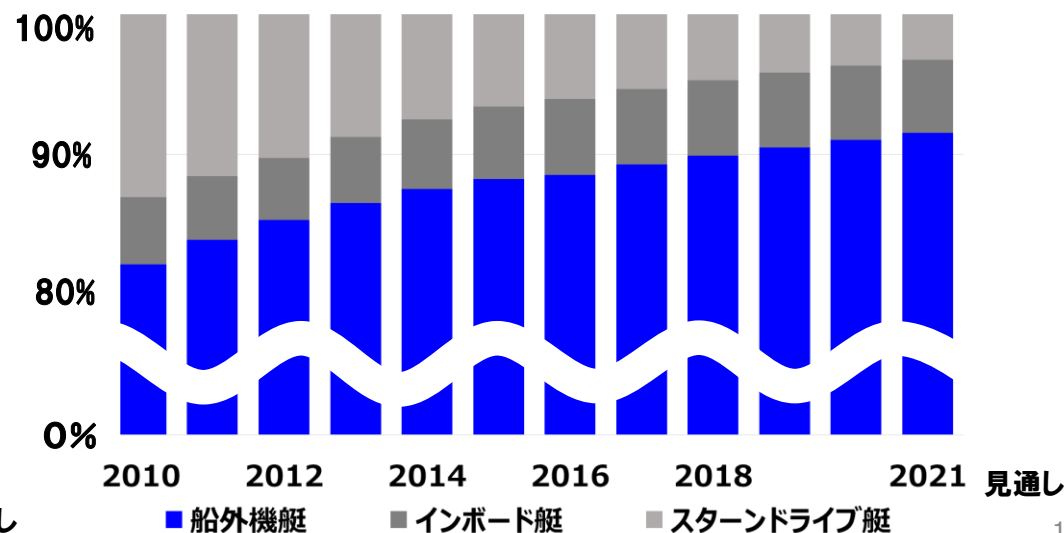


大型の場合、
1艇に対し、複数基の使用も！

■大型船外機総需要推移 (米欧)

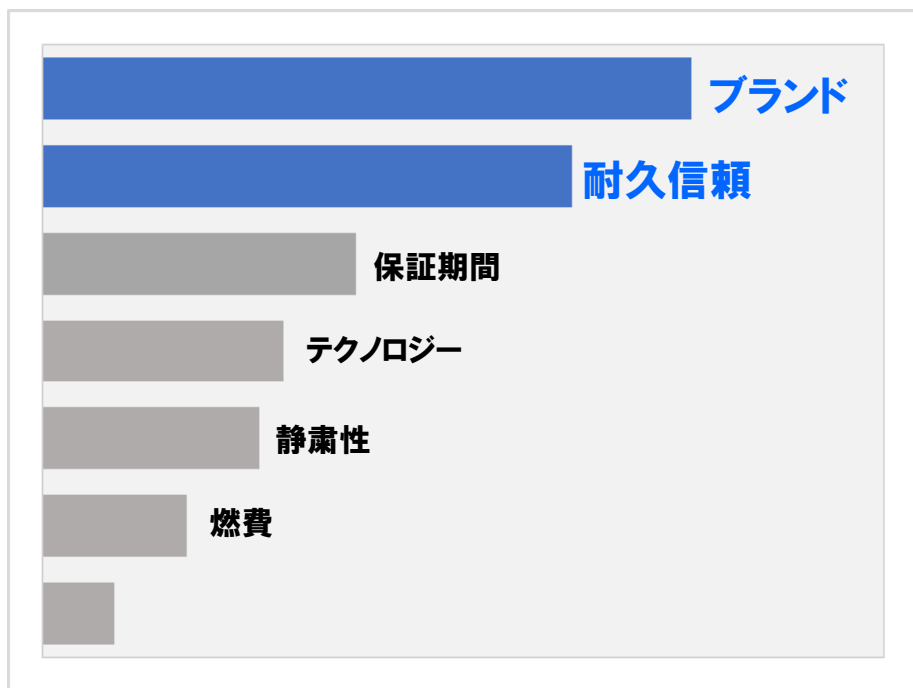


■推進機別ボート販売比率推移 (北米のみ)



マリン事業 ～ 当社 高収益の要因 ～

“高い信頼性から生まれたブランド力”



出所)F300B購入動機 USA(当社調べ)



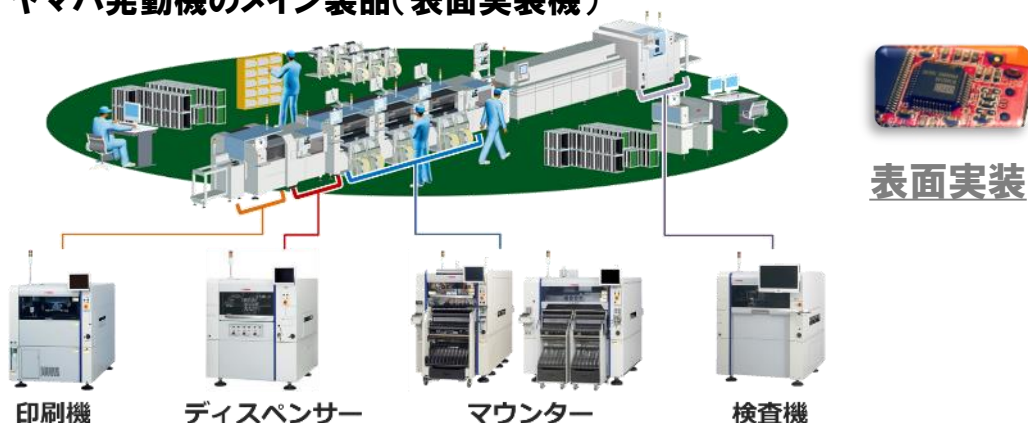
ロボティクス事業

サーフェスマウンター(表面実装機)、
産業用ロボット、産業用無人ヘリコプター等

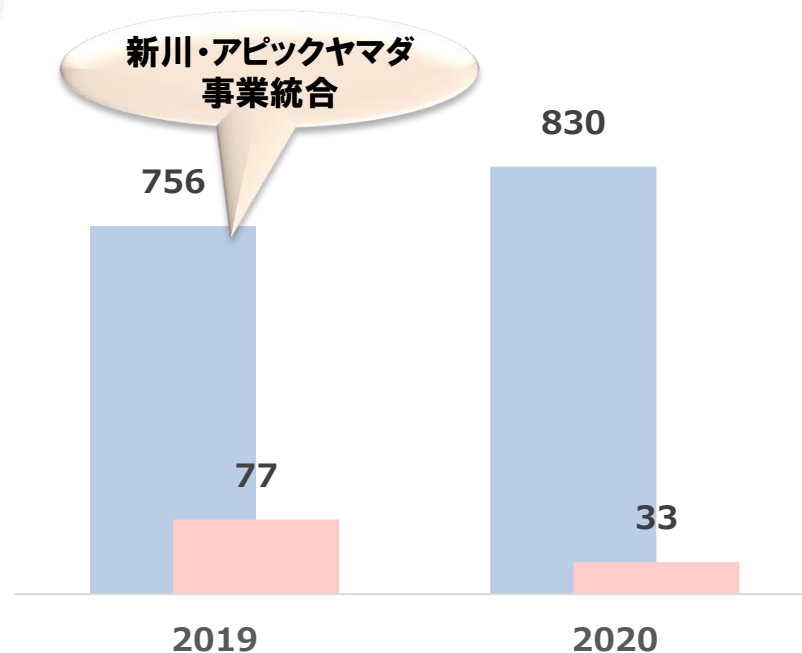
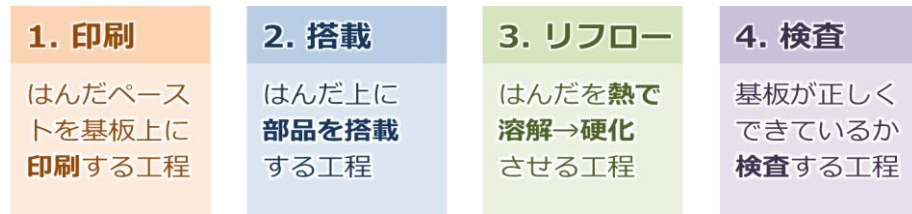


高い汎用性と柔軟性、トータルソリューション提供が強み

ヤマハ発動機のメイン製品(表面実装機)



基板の作り方(メイン4工程)



売上高(億円)

営業利益(億円)

本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

3. **成長戦略(長期ビジョン)**

4. 株主還元

成長戦略と創出する社会価値

創出する社会価値



成長戦略の方向性

事業展開

ランドモビリティ事業



マリン事業



ロボティクス事業



金融サービス事業



その他



長期ビジョン

ART for Human Possibilities

3つの注力領域

Advancing Robotics

基盤としての知的技術、ロボティクス技術を活用し進化させる

Rethinking Solution

ヤマハらしいソリューションを提案する

Transforming Mobility

モビリティを変革する

人はもっと幸せになれる。

環境・資源

- 地球環境にやさしい
パーソナルな移動手段の提供
- 安全な水や資源の確保



交通・教育・産業

- 安全・快適・楽しい、移動サービスの提供
- 安全運転教育の強化による交通安全意識の底上げ
- 技術者の育成支援、就業機会の創出



イノベーション

- 自動化・自律化による単純労働からの解放
- 知的技術・制御技術の活用促進



人材活躍推進

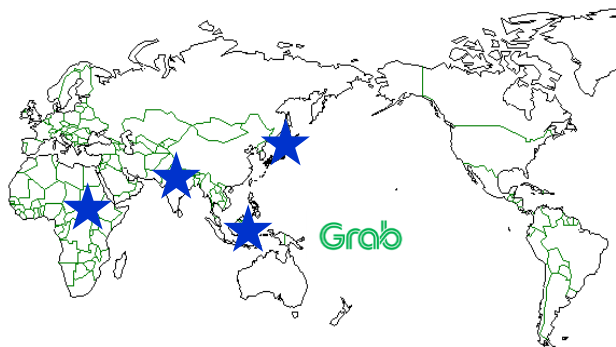
- ダイバーシティ・インクルージョンの促進
- 働きがいのある組織体制



中長期施策 ART for Human Possibilities 進捗状況

新規分野

モビリティサービス



MaaS対応向け事業開発を加速

低速車両自動運転



工場内物流の自動運転化

果菜農業 省人化



農業用無人走行車両の開発・試験

基幹事業

ランドモビリティ



広がるモビリティ：
新製品投入(コネクテッドNMAX、LMW)

マリン



HARMO(電動推進システム)：
北海道小樽市で実証実験

ロボティクス



YRH完全子会社化：
トータルソリューション強化



カーボンニュートラルへの取り組み

ヤマハ発動機の 電動商品



【台湾】電動スクーターを発売(2019年8月～)
Gogoro社とEVビジネスの協業



「EC-05」

電動化に向けた他社との連携：
交換式バッテリー
コンソーシアムへの参画

【日本】2019年4月～
参画企業：ヤマハ発動機、スズキ、
本田技研工業、川崎重工業

【欧州】2021年3月～
参画企業：ヤマハ発動機、
本田技研工業、KTM、Piaggio

ハイパーEV向け
電動モーターユニット
試作開発受託を開始



電動モーターユニット試作品
(350kWクラス)

社会価値創出に向けた活動事例

～ヤマハクリーンウォーターシステム～



本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

3. 成長戦略

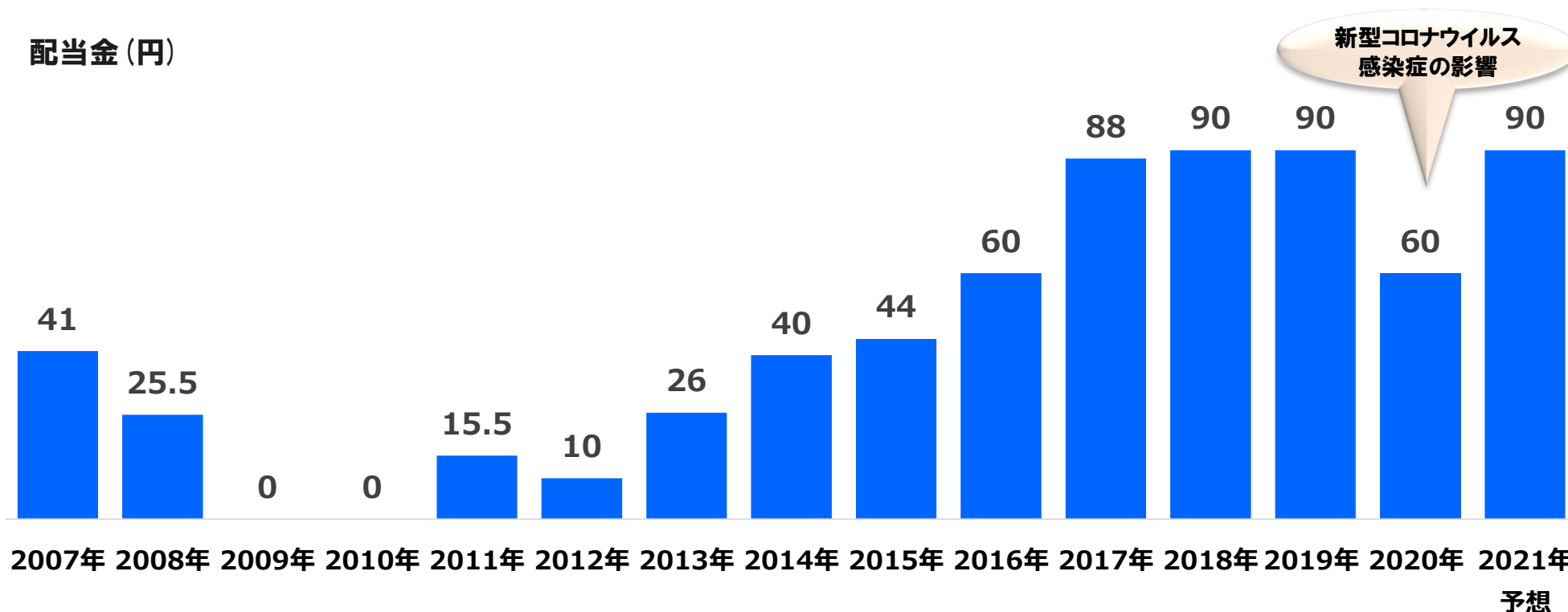
4. 株主還元

配当金

1. 安定的かつ継続的な配当を維持し、連結配当性向30%を目安とする。
2. キャッシュフローの範囲内で成長投資と株主還元をバランス。

コーポレートガバナンス基本方針、中期経営計画より

配当金 (円)



1,000 P



2,000 P



3,000 P



4,000 P



体験型商品



本社・グループ会社所在地の名産品 体験型の商品をご用意！

【株主優待対象者様】

12月31日時点の株主名簿に記載又は記録された
1単元(100株)以上の株式を保有の株主様

【優待内容】

保有株式数・保有期間によりポイントを進呈し、
ポイント数に応じて、優待品の中から好きな商品をお選びいただけます。

【株主優待ポイント】

保有株数/期間	3年未満	3年以上
100株以上500株未満	1,000	2,000
500株以上1,000株未満	2,000	3,000
1,000株以上	3,000	4,000

株主様との関係をさらに強化し、 当社のことをより深く知っていただくためのファンクラブ

- ・ボートショーやモーターショーなど業界イベントへのご招待
- ・二輪車、船外機工場見学会
- ・取締役との座談会など

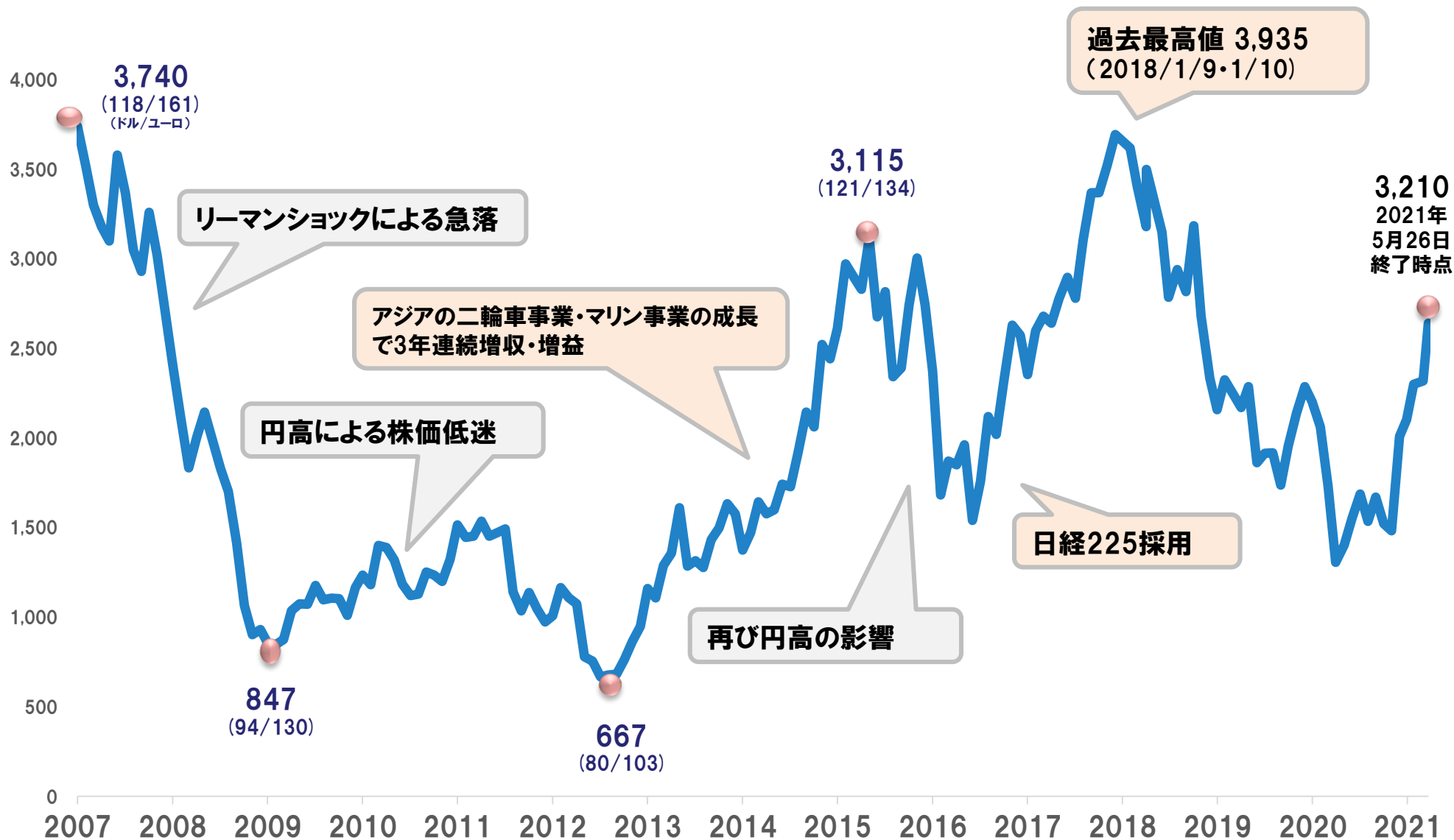


ファン株主クラブ専用ページ



二輪車組立工場ご視察会

株価の推移 2007－2021年



ヤマハ発動機の外部評価



• FTSE4Good / FTSE Blossom Japanに選定（2019年）

ESGに関する世界的指数「FTSE4Good Index Series」と、
年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）がESG投資のために採用している指数。



FTSE4Good



FTSE Blossom Japan

• S&P Japan 500 ESGに選定（2019年）

世界最大規模の金融指数算出会社の米国S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス社によるESG銘柄。

• SNAM(エスナム)サステナビリティ・インデックス（2018年～2020年連続認定）

ESGの評価が高い企業に幅広く投資する年金基金・機関投資家向けの
SRI（社会的責任投資）のための指標。



2021
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500



Sompo Sustainability Index

• 健康経営優良法人～ホワイト500～（2021年認定）

経済産業省と日本健康会議が共同で進める「健康経営優良法人認定制度」

• DJSIの「アジア・パシフィック・インデックス」（2020年）

世界的なESG投資指数であるDJSI（ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス）の
アジア・太平洋地域企業を構成銘柄とする指標。



• CDP（2020年）

国際的な非営利団体CDPの気候変動レポート分野でリーダーシップレベルの「A-」を取得

• デジタルトランスフォーメーション銘柄（DX銘柄）（2020年）

経済産業省と東京証券取引所が共同で主催するDX銘柄指標



DX銘柄2020
Digital Transformation

1. 幅広い商品を世界中で展開

- ＞二輪車は、アジアで強いブランドイメージと市場シェアを確保
- ＞マリンとロボティクスは強固な事業基盤かつ成長事業。
- ＞電動商品の展開
 - ゴルフカー(1979年)電動アシスト自転車(1993年)
 - 電動車いす(1995年)電動スクーター(2002年)産業用ドローン(2018年)
- ＞特定商品の需要変動や地域の経済変動に左右されにくいビジネス構造
- ＞価値観の変化による新たな需要の取り込み

2. 事業活動を通じて、社会の課題解決に貢献し 自らも成長していく

3. 成長に向けた投資と株主還元をバランス



ヤマハ発動機株式会社
(東証一部 7272)